

2/4(土) PIANO PIANO PIANO!

EN-RAYホール開館時に導入されたスタインウェイと、名寄市民会館から引き継がれた思い出深いヤマハ。2台のフルコンサートグランドピアノを、名寄市近郊のピアニストが集まり、各々のセレクトナンバーを弾き上げます。また、Jacob KollerによるスペシャルLIVEも！



【Program】

- ◆名寄市近郊のピアニストステージ
- ◆公開ワークショップステージ
- ◆ジェイコブ氏によるスペシャルLIVE

【Profile】 Jacob Koller (ジェイコブ・コーラー)

1980年米国アリゾナ州・フェニックス生まれ。高校入学までにアリゾナ・ヤマハ・ピアノ・コンクールを含む10以上のクラシック・ピアノ・コンクールで優勝。高校ではジャズクラブでバンド活動を始め、ジャズの才能を開花させる。アリゾナ州立大学へ入学後も2000年、ジャズ作曲コンクールなどで絶賛され、2007年には、「COLE PORTER JAZZ PIANO FELLOWSHIP」のファイナリストの一人に選ばれる。2009年来日後、TOKUのバックなど、ジャズ・ピアニストとして活躍。2009年、星や月にちなんだ名曲を集めた『STARS』、2010年4月にはジャジーにショパンをプレイしてみせた「ショパンに恋して」をスマッシュ・ヒットさせる。2011年10月には、樹里からんなどをゲストに迎えた「シネマティック・ピアノ・パラダイス」をリリース。映画音楽に見事なアレンジを加え、新しいPOPSアルバムとして高い評価を得た。その後、2013年1月シネマシリーズ第2弾、そして11月6日に満を持してのホール録音による全編ピアノ・ソロとなる第3弾をリリース。ジェイコブの創造的な見事な演奏力と同時に録音音響的にも高い評価を得た。2014年10月にはシネマシリーズ第4弾として名作名画をトリビュートした初の全曲オリジナル曲による「マイ・サウンドトラック」をリリース。2015年、テレビ朝日人気TV番組「関ジャニの仕分け」内「ピアノ王決定戦」で優勝。日本のみならず、韓国やアメリカでもコンサートツアーを実現。YouTubeでも人気が出て、2100万回再生、登録者数11万人を突破。現在、最も注目されるピアニスト。

スタインウェイD274

平成27年(2015)5月9日に開館した名寄市の新しい市民ホールであるEN-RAYホールの顔として導入されたのが、スタインウェイ・アンド・サンズ製のD274です。1884年から製造されてきたスタインウェイの主力モデルで、世界のコンサートグランドピアノの90%以上と言われるほど普及率の高い最高級ピアノです。幅156cm、長さ274cm、重さは480kg。国内の著名なホールが備え、多くのピアニストのコンサートやコンクールにおける第1選択ピアノでもあります。

市民の間で組織された「ピアノで心を育む会」が、名寄のシンボル星とピアノ、ト音記号でデザインされたオリジナルバッジを製作して寄付金を募りました。2,000万円を超える購入額は「ピアノで心を育む会」のほか、市内企業からの寄付で賄われました。



ヤマハCF3

平成4年(1992)5月、名寄市大通北1丁目にあった名寄市民会館ステージに初めて置かれたフルコンサートグランドピアノです。それまで会館にあったピアノは、昭和41年から使われていた学校や家庭向けのもの。音楽イベントへの関心が高まってきた時代に、「コンサートにピアニストを招いても恥ずかしくないピアノを」と名寄市文化協会など、地元の音楽愛好者たちが待ち望んでいたものでした。

ヤマハが1983年から製造したCF3は、幅160cm、奥行275cmのフルコンサートサイズで重さ580kg。国際コンクールで公式ピアノとして採用される国産ピアノとして知られ、当時の価格は645万円。平成27年、名寄市民会館からEN-RAYホールへと引き継がれたこのピアノは、現在ももう1台のフルコンサートピアノとしてホールの音楽プログラムの幅を広げてくれています。

- ▶ 2月4日 土曜日 13:30開演 (13:00開場)
- ▶ 全席自由席 一般 1,500円
高校生以下(名寄大生) 500円
- ▶ プレイガイド EN-RAYホールチケットセンター
※当日は200円増
※車椅子席には限りがあります
※4歳未満入場不可

チケット
好評
販売中!

EN-RAY倶楽部会員割引対象公演

- ◆会員は1枚限り販売価格から1割引(割引金額:一般200円、高校生以下100円)
- ◆購入時は会員証をご提示ください(本人以外での購入はできません)
- ◆入会には1週間ほどお時間をいただく場合があります

名寄大生 特別割引

- ◆名寄市立大学生はチケット購入時に学生証を提示すると、高校生以下の料金(500円)で購入できます。

エンレイ通信

2/26(日) 名寄市少年少女オーケストラ 第6回定期演奏会



幅広い年代が楽しめる多様なコンサートをテーマに活動を続ける「名寄市少年少女オーケストラ」。第6回目を数える定期演奏会では、アルト歌手「松田久美」さんをゲストに、聴きなじみのある音楽で共演、その他にも「旭川市少年少女オーケストラ」や「名寄高校吹奏楽部」の賛助出演もあり、演奏会をさらに盛り上げます。

こもりがちな北国の冬の季節を、心温まる音楽でお楽しみください。

【ゲスト】アルト歌手／松田久美

札幌大谷短期大学音楽科声楽コース卒業、同短大専攻科、研修生Ⅱ修了。第4回東京国際声楽コンクール奨励賞受賞。2013年よりドイツ、ケルンにて研鑽を積む。数多くのオペラでタイトルロールを演じ、その他「第九」、「宗教曲」などのソリストも数多く務める。2014年にソロリサイタルを札幌コンサートホール Kitara にて開催。大谷高校音楽同窓会「ペオニア」、北海道フーガー・ヴォルフ協会、札幌室内歌劇場各会員。エルム楽器声楽講師、女声合唱団「合歓」指揮者。



【名寄市少年少女オーケストラ】団長／佐藤 勝

平成28年度開催された公民館主催「ヴァイオリン体験講座」の参加者を母体に同年8月7日に設立。園児から中学生、保護者ら約20名が在籍している。日本最北のオーケストラとして、その活動は注目され、これまでに生涯学習フェスティバル、ふうれん街なか音楽祭、アスパラ祭り、名寄ライオンズクラブ55周年式典、イオン名寄SC、全道市長会レセプション、しらかばハイツでの慰問演奏などに出演。熊本ユースオーケストラとの熊本地震復興祈念コンサートや全道少年少女オーケストラフェスティバルでも中心的な役割を果たし、多方面な活動で青少年の育成と地域の音楽文化振興に活躍している。また平成29年、30年5月には東南アジア・ラオス（ビエンチャン市）での国際音楽交流事業や平成31年3月ウィーン・ハンガリーへの演奏旅行にも団員が参加した。

【常任指揮者】助乗慎一

旭川市出身。北海道教育大学旭川校芸術文化課程音楽コース卒業。同大学院教育学研究科教科教育専攻音楽教育専修修了。これまでに、ホルンを島方晴康、小沢千尋、伊藤恒男の各氏に師事。また室内楽を森田寛、千葉圭説の両氏に師事。道内各地で音楽科の教員として6年間勤務の後、NPOなどでまちづくりに従事。2013年とさんこ青少年オーケストラ協会を設立し、道内5か所約200名の生徒を指導している。また、ヨーロッパやアジアへの指導や各国の子ども達や指導者たちと交流を続けている。現在、一般社団法人とさんこ青少年オーケストラ協会代表理事・音楽監督、NPO法人日本少年少女オーケストラ協会理事（北海道・東北支部長）、NPO法人えべつ楽友協会理事、北海道農林管弦楽団事務局長。学校法人旭川大学旭川高等学校芸術科（音楽）講師、日本アートマネージメント学会会員。



【演奏曲目】

- 第1部/ル・おもちゃの交響曲、ビゼー カルメン行進曲、ハバネラ（アルトとの共演）花は咲く（アルトとの共演）ほか
- 第2部/アンパンマンのマーチ、ホール・ニュー・ワールド ばらのつぼみ ほか

チケット
1月中旬
販売予定!

- ▶ 2月26日 日曜日 14:00開演（13:30開場）
- ▶ 全席自由席 一般 1,500円
小中高生 無料（要整理券）
- ▶ プレイガイド EN-RAYホールチケットセンター
※未就学児も入場可能です ※当日は一般のみ200円増
※車椅子席には限りがあります